

熱い経営者と共に学ぶ

石川県立いしかわ特別支援学校



クローズアップ

障害者問題委員会活動紹介

人を生かす経営は障害者雇用から

第15期経営指針成文化講座

分析を通し自身と自社にとことん向き合う

写真: 障害者問題委員会 8月勉強会 石川県立いしかわ特別支援学校訪問(5面)より

▼詳しくはこちらから



CLOSE UP!

同友会型
企業づくり実践

【※同友会型企业づくり】(21世紀型中小企業づくり)

1. 自社の存在意義を改めて問い直すとともに、社会的使命感に燃えて事業活動を行い、国民と地域社会からの信頼や期待に高い水準でこたえられる企業。
2. 社員の創意や自主性が十分に発揮できる社風と理念が確立され、労使が共に育ちあい、高まりあいの意欲に燃え、活力に満ちた豊かな人間集団としての企業。



障害者問題委員会活動紹介

(左から)

障害者問題委員長

藤井 敬士 会員 (株)シコウ 代表取締役社長

前障害者問題委員長

浜上 悟 会員 (有)オリジナル企画 取締役

障害者問題副委員長

村上 龍哉 会員 (株)北精テクニカ 代表取締役

人を生かす経営は障害者雇用から

障害者問題委員会では、昨年12月に「すべての人を生かすこと」を委員会理念として掲げました。この到達点を目指すための目標は将来のダイバーシティ経営を見据え、多様性あるすべての人が社会貢献できる環境づくりとしました。その実現のため、中長期計画と3つの委員会活動方針を決定しました。1つ目は、障害者雇用の実践企業、支援学校、施設などそれぞれの立場、考え方を学ぶこと。2つ目は定期的な報告会やディスカッションの機会を作ること。3つ目は経営者自身の意識改革を行い、様々な就労機会を見つけ出すことです。

今回、メンバーの3人でこれらの委員会方針を踏まえた上で委員会の紹介を兼ね、それぞれの想いを確認し

合いました。

藤井：2022年度より障害者問題委員長として活動しています。自社での雇用経験がないこともあり具体的に学べる機会をつくるため、ミニ例会形式で会員企業の実践報告や支援学校、ジョブコーチによる事例報告などを企画して委員会活動を推進しています。自社において将来の障害者雇用を目指しています。

浜上：2017年度から2021年度まで委員長を務めました。全国の障害者問題委員会の行事に参加し、通年で障害者問題に取り組む活動があるのは全国の経済団体の中で同友会が唯一と知り、その強みを発信することで委員会活動を推進してきました。



〒920-0031
金沢市広岡1丁目10-9クオリティシャットウ103
TEL / 076-255-6686 MAIL / barberstage.ryouen@gmail.com

◎給食事業 ◎食材宅配事業
◎カレー事業

ケービーエフ株式会社

〒920-0017 石川県金沢市諸江町下丁216
T.076-255-2690 F.076-255-2698

かなざわ・凜や

〒920-0022
石川県金沢市北安江3丁目14-21
LaLuce北安江4F

イベント情報ならびに詳細はこちらから→





グループ会社では5名の障害者をスタッフとして雇用しています（写真上/右側男性）。

村上：2019年度より副委員長に就いています。同年、中同協全国総会で中村こずえ氏（長崎同友会代表理事）と出会い、同友会には経営指針のほかにも「人を生かす経営」の実践に障害者雇用の大切さがあることを学び、直ぐに自社で取り入れました。就労継続支援B型の雇用から徐々に受け入れ、いまでは直接雇用まで実現しています。

浜上：自社での雇用は、障害者雇用と思ってするのではなく、彼らも大事な仕事を担っているパートナーだということをまずは理解してもらいたいです。雇用はあくまで通過点であり、会員にもぜひこのことを経験してほしいと思います。

村上：同友会の中で一企業でも多くの障害者雇用が生まれること、雇用まで到達できなくても理解することで「人を生かす経営」の本質を学ぶことが出来ます。

実際に自社では、障害者を雇用して助け合いの精神が生まれました。それが作業指示書などの書面にまで表れることが大変嬉しかったです。

藤井：委員会活動を通して学んだのは、どの企業も障害者を雇用するにあたり、彼らが仕事のしやすい環境づくりをハード面、ソフト面共に推進していることです。それが共に働く社員の学びと成長にもつながっていることでした。

「すべての人を生かすこと」の理念に基づき、障害者が活躍できる機会をもっと増やせるよう、私自身を筆頭に、学び、考え、そして気づきを見い出せる委員会をつくりたいと思います。（寄稿：藤井 敬士 障害者問題委員長）

感動イノベーション。

munejyu

株式会社 宗重商店

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDG 1 貧困をなくそう
SDG 2 飢餓をゼロに
SDG 3 健康と長寿を促そう
SDG 4 質の高い教育をみんなに
SDG 5 女性に力を与える
SDG 6 清潔な水とトイレを世界中に
SDG 7 持続可能なエネルギー
SDG 8 働きがいのある経済を実現
SDG 9 産業とインフラの基盤を構築
SDG 10 公平な社会を築こう
SDG 11 持続可能な都市を築こう
SDG 12 持続可能な消費と生産
SDG 13 気候変動に具体的な対策を
SDG 14 海の豊かさを守ろう
SDG 15 陸の豊かさも守ろう

不要品事業

リユース事業

海外事業

幼児教育事業

協同組合事業

不動産事業

リサイクル事業

解体事業

ホームページはこちら

本社・石川営業所／〒920-0342 金沢市畠田西1丁目112番地
Tel (076) 266-6000 Fax (076) 266-6161

滋賀営業所／〒526-0803 滋賀県長浜市西上坂町267
Tel (0749) 63-8844 Fax (0749) 63-8848

リサイクルセンター／〒920-0211 金沢市湊2丁目3
Tel./Fax (076) 281-6000

ラクマル倉庫／〒920-0274 河北郡内灘町字向栗崎5丁目247番地
Tel./Fax (076) 254-6485

南加賀支部 8月例会

8月19日（金）

SDGsを深堀して実践に

萩野 充弘 会員 萩野塗装(株) 代表取締役
東 和央 会員 (有)パンあづま屋 代表取締役



南加賀支部8月例会は、「SDGsをもっと学んで実践しよう」をテーマに例会を行いました。すでにSDGsを実践している

萩野会員と、これから宣言して取り組もうと考えている東会員の二人が報告し、取り組みのきっかけや状況、企業としてどのような効果があったかなどを語りました。

グループ討論のテーマは、「自社が宣言するとしたらどのような取り組みが考えられますか?」。各々が自社の業種、現状、今後の展開を鑑み、SDGsとどう結び付けるかを話し合いました。「経営課題を考え社員と向き合いたい」などの感想があり、次の展開を考える機会になりました。

（寄稿：今村 彰英 広報委員）

金沢中央支部 8月例会

8月29日（月）

成果とはギャップを埋めること

松山 将三郎 氏 (株)サックスUP 代表取締役 (東京同友会)



松山会員は目標管理の手法として、マンドラチャートやGoogleなどが導入しているOKR（目標と主要な結果）を用いてビジネスを展開しています。その手法を最大限に生かし「成果」を出すためには、「理念」や「ビジョン」など経営指針をしっかりと示し、社員と共有

することが大切だと報告しました。

また「成果とはギャップを埋めること」であり、この成果を個人ではなく、組織のものにしていくためには、理想と現実のギャップ、問題と課題のギャップ、経営者と社員さんとのギャップ、これらを見える化し、一緒に考え、共有する機会を持つことも重要であると学びました。

（寄稿：出村 有基 広報委員）

奥能登研究会

研究会の活動報告

珠洲燈籠山祭りに体験参加

7月23日（土）

奥能登の振興について活発に意見交換



奥能登振興研究会(高屋利行会長/(株)高屋設計環境デザインルーム代表取締役)は設立記念行事として、7月23日に珠洲市飯田町で開催された「燈籠山祭り」に総勢11名で体験参加しました。

過疎化が進む奥能登で伝統ある祭り文化にふれながら、地域経済を担う経営者団体として何ができるのか、そして何をすべきなのかを考えるためです。

一行は同日夕刻より祭りに合流。新型コロナ感染対策としてマスク、軍手を着用し絢爛豪華な曳き山を引きました。「よばれ」（祭りにご馳走をふるまう習慣）と言われる地元のおもてなし体験はコロナ禍で中止となりましたが、宿に戻ったの交流会では参加者から奥能登の振興について活発な意見交換がされ、盛会で幕を閉じました。（寄稿：宮野 晃 広報委員）

頭のテッペンから足の先まで作業用品なら何でも揃います!



作業服&制服
株式会社
アイビー

☎920-0065 金沢市二ツ屋町7-13
本社 TEL(076)231-1121
E-mail ibc@ib2011.com

金沢中央店
☎920-0065 金沢市二ツ屋町7-13
TEL(076)231-1121(代)

野々市支店
☎921-8801 野々市市御経塚4-93
TEL(076)227-9891(代)

アイビーグループ アイビー七尾
☎926-0033 七尾市千野町へ9番地
TEL(0767)57-3740(代)

司法書士・行政書士・社会福祉士のさか司法書士事務所

時間と手間がかかる相続手続き
もしものための遺言書の作成

〒921-8013 金沢市新神田4丁目13番9号
TEL: 076-291-7540 FAX: 076-292-0954



■青年部会「中小企業・小規模企業白書2022」特別セミナー

ITビジネスプラザ武蔵

8月10日(水)

外部環境の見識を深め経営に活かす

講師：宮越 健太 氏
松田 高彰 氏

中小企業庁 事業環境部調査室
中部経済産業局 北陸支局 北陸経済企画調整係長



今回は経営体験報告を聞く通常例会とは違い、昨今の厳しい外部環境に対して見識を深め、より実践的に自社の経営に活かす為の特別セミナーを開催しました。

講師より2022年度版中小企業・小規模企業白書の解説とデータの分析、新事業展開事例や中小企業小規模企業向けの支援施策の紹介を受け、「いかに環境が厳しくとも時代の変化に対応して経営を維持発展させる責任がある」ことを再確認しました。まだまだ厳しい外部環境が続くことが予想されますが参加した会員には、更に挑戦していこうと思えるセミナーになりました。(寄稿：中島 綾也 青年部会プロジェクトリーダー)

■障害者問題委員会 8月勉強会

石川県立いしかわ特別支援学校

8月17日(水)

彼らも戦力、周りの理解が必要不可欠

杉本 健一 会員 (株)アドバンス北陸サービス



石川県立いしかわ特別支援学校にて就労現場の見学と、杉本健一会員 ((株)アドバンス北陸サービス) による障害者の雇用体験、同社における社会福祉協議会のジョブコーチの支援事例を報告しました。

杉本会員は、数年前社内の反対を押し切り障害者雇用を推進しました。働きやすい環境を整えるため、専用スタンプ、汚れに応じた赤、黄、緑のタオルや作業要領書を導入。「彼らも戦力、そのためには周りの人の理解が不可欠」と話しました。

社会福祉協議会からは、同社の就労者が入社から数か月を経て仕事が雑になり、目標を失ってしまった時どのようにジョブコーチが本人・両親・企業の間に入り、職場適応に向けた改善、助言や指導を行ったかを具体的に紹介しました。(寄稿：乗地 茂勝 障害者問題委員)

■経営労働委員会 第15期経営指針成文化講座 第1講理念編

ウェルネスハウスSARAI

8月20日(土)21日(日)

分析を通し自身と自社ととことん向き合う



新型コロナや原材料の高騰など、外部環境が目まぐるしく変化していく中、何のために経営しているのか、将来どういう会社にしていくのか、様々な角度から分析を行う合宿に、今期も存在意義を成文化しようと9名の受講生が集まりました。

受講生は、強みに気付くことを目標に、受講経験者である共学者と共に過去を振り返り、とことん自身や自社に向き合っていました。

今後の第2回ビジョン編、第3回方針編へと繋がる基礎を固める合宿となりました。年々パワーアップする指針講座は今後も要注目です。(寄稿：乙丸屋 久兵衛 広報委員長)

書籍紹介

同友会の書籍をご紹介します。
お求めは事務局まで

『人を生かす経営 ～中小企業における労使関係の見解～』

発行：中小企業家同友会全国協議会 550円

「労使見解」は常に私たちに、経営者としてのあるべき姿勢を問いかけ、労使関係の創造的発展こそ企業成長の原動力であることを示し続けてきました。(まえがきより)」

2022年度の中間協方針、企業づくりでは「人を生かす経営」の実践を呼びかけています。いまいちど『労使見解』を読み込み、ポストコロナを見据えた経営姿勢の振り返りをしませんか。



理事会からのお知らせ(9月)

2022年度 9月理事会 2022年8月31日(木) 13:30～15:15 ITビジネスプラザ武蔵
出席:14名、欠席:2名、事務局:4名
議長:南、議事録署名人:久安、議事録作成:井上 敬称略

【審議事項】【1】入会承認の件【承認】2名の入会を承認
※9月理事会承認会員数 381名=379+ (2)

【報告事項/確認事項】

【1】石川同友会 9月活動レベル 活動レベル (1)

橋本: 会食や懇親会は引き続き非公式でお願いします。

【2】(報告/確認) 金城大学より連携協定締結と協力の依頼について (依頼内容/担当組織について)

辻: 金城大より経済学部を新設するため、キャリア授業や採用に関して連携協定締結の依頼があった。

絹川: 金沢星稜大とも連携協定の調整をしている。学校からは双方の担当者が毎年変わることが指摘されている。会員企業も退会することもあるので注意が必要だ。

岡谷: 全会員への告知は会として協定締結後がよい。

南: 共同求人委員会を窓口に向きに進めていきます。

【報告事項/協議事項】【1】仲間づくりについて

橋本: 同友会の良さをストーリーとして伝えること。仕組みづくりも大事。自分ごとにして行動と結果が大事。

宗守: 増強強化月間があった方が盛り上がる。

上野: 能登は地道に例会に誘っている。ベテラン会員からは「楽しくないと人は来ないから」と言われ意識している。

久安: 駅西では役員会であまり仲間づくりの議論がされない。ベテランと若手の温度差がある。魅力ある例会が大切。

川島: ゲストは増えている。グループ会にもゲストが参加している。意外な人もゲストを連れてきてくれる。

坂池: 城南も苦戦している。WEB活用もいいが、結局は一人ひとりの人海戦術だと思う。言い続けることも大事。

柴: 石川の好事例もある。城南ではグループ長が全グループ員を訪問して話を聞いてくる活動を行った。その時に撮った写真をスライドにして例会前に流している。

岡谷: 経営の悩みに寄り添い同友会で課題解決につなげる。いかに「相手のことを想って」行動するかだ。

前田: 白山・野々市では役員の価値観を共有してからでないと増につながらないという考えだが現状は苦戦。

南: 南加賀は担当副支部長を中心に若い会員が企業訪問で入会につなげている一方ベテランの足が遠のいている。

辻: 同友会の商品は課題を解決した会員企業や成長した企業にあたるので、そういう企業を増やすこと。そのためにも委員会への参加を増やそう。結果、増につなげる。

【2】(協議) 11月行事の広報 (新聞広告の提案)

南: 会外への発信、同友会を知ってもらえる機会になる。

会員から協賛を募り、残りを会予算で賄うと想定している。

上野、川島、坂池、久安: 賛成。WEB広告でもよい。

辻: お金かけないアイデアも出せばどうか。

絹川: 何を発信するのか、内容が問題だ。

南: 11月行事の広報とともに同友会企業として発信できるのもいいと思う。反対意見がなかったので詰めていきます。

【報告事項】【1】その他

* 11月行事の進捗と名称の変更について

川島: 今までの経営者フォーラムと内容的に齟齬があるという意見から、名称を「コネクトデイ」(つなぐ日)に変更したい。オール石川として意識を高めたい。

絹川: コネクトとは誰と誰をつなげるのか。

川島: 第一に会内をつなげる、次に会外につながって同友会の良さを広めて最後に地域へとつながっていくイメージ。

宗守: 当初、学園祭風といていたが、分科会の無いフォーラムといった感じになった。

黒崎: 結局はリソースの問題。増強や対外発信が大切だと思うならコネクトデイを続ける。中小企業問題が課題ならフォーラム。余裕があるのなら両方実施すればいい。突き詰めると経営課題の解決だ。

* 2026年中期協定時総会に静岡同友会が立候補

* 各組織の上半期のレビューを10月理事会で実施

前田: 総務委員会より 南加賀支部会員3名に豪雨災害のお見舞金をお渡しします。

柴: 前期役員研修会は10月に延期で日程調整します。

次回 10月6日(木) 13:30～15:00 オンライン予定

【豪雨被害のお見舞い】

8月4日からの記録的な大雨により県内各地、特に小松地域、白山地域において甚大な被害が発生しました。被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げますと共に、被災地域の日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

新入会員変更 紹介

【新入会員】



久利須 勇真 (くりす ゆうま)

fil(同)/代表

金沢城南支部/池高G

推薦者: 久利須/竹島



村田 文寛 (むらた ふみひろ)

加賀物流(株)/代表取締役

金沢駅西支部/山岸G

推薦者: 佐野/吉田章



すべての企業は、潜在能力を眠らせている。

サクセスブレインのミッションは、企業を黒字化し、永続する企業にすること。そのミッションを達成するために、企業が潜在的に持っている100の力を、最大限に引き出したい。そのためのマネジメントを組織をあげて支援します。

株式会社サクセスブレイン
税理士法人サクセスブレイン

〒920-0364

金沢市松島2丁目191COMビル3F

TEL:076(269)8653 FAX:076(269)8654

URL:www.success.co.jp

(10 月の 行事予定 INFORMATION)

すべての行事は事前登録制です。
会員外の経営者の参加希望は事務局までご連絡下さい。



※開催方法は、リアル会場を予定している場合でも新型コロナウイルス感染状況により、オンラインとなる場合があります。

南加賀支部

10月例会

10月21日(金)18:30~20:45

サイエンスヒルズこまつ

「仕事にやりがいを感じていますか？」

働く意義は？」

森 友恒 会員 森康(株) 代表取締役社長

今日では、仕事に対するやりがいと、労働に対する喜びと誇りをいかに経営の中で作り出していくかが大きな課題となっています。あわせて、社員の生活の向上と人間的な能力を高めていく、自己実現の機会を企業の中でできるだけ大きくしていくことが我々経営者に求められることではないでしょうか。

経営者自身がやりがいを感じ、いきいきと仕事をしていますか？社員にとってのやりがいとは何ですか？仕事を通じて企業・自身・社員が地域や社会にどのように貢献しているのかを考えます。

社員共育委員会 共育塾経営幹部コース

10月19日(水) 13:30~17:30

金沢未来のまち創造館

第12期 経営者と社員の共育塾

ー経営幹部コースー

第1講「社長と理念の共有」

堀上氏、猪子氏（前年受講社員）

(有)白崎シーサイドホテル 多田屋

共育塾は社長と共に会社の理念を理解し、自ら理念に基づいて行動する幹部社員の育成を目的に、経営者と幹部および候補者を対象とした講座です。

費用：10,000円（全4回1名分）

第2講11/17、第3講1/18、

第4講2/15 を予定しています。

(申込みは全講座受講が必須となります)

※詳細・申し込みは事務局まで

共同求人委員会

フォローアップ研修

10月28日(金) 9:30~

10月29日(土) 12:00~

石川県青少年研修センター

講師：村木 睦 氏 (株)amuf代表取締役

対象：2022年度新入社員及び

入社2年未満の社員

参加費：会員企業1人18,000円程度

(人数により調整/1泊3食付・資料代込)

締切：10月7日(金)

他社の社員との交流で自分だけが悩んでいるのではないことを知り、壁にぶつかったときの対処法や考え方などを学び合います。

希望をもって入社した頃の想いや目標を振り返り、新たな気持ちで今から会社や社会に貢献できることを再認識します。

※詳細・申し込みは事務局まで

石川県中小企業家同友会

第1回 CONNECT DAY

中小企業と地域が元気になるために ~課題解決に向けた「人を生かす経営」とは~

様々な経営課題(人材育成・売上・雇用・人的ネットワーク)を「人を生かす経営」で解決してみませんか？

現状認識、経営実践報告、課題に特化した取り組み(委員会・部会の活動)を通じて

楽しくわかりやすく！石川県中小企業家同友会とコネクトする一日です。

2022年

11月7日(月)13:00~18:30 会場：石川県地場産業振興センター 本館大ホール

第一部 講演 13:00~14:10

テーマ「コミュニケーション×コラボレーション×イノベーション」

多田 隆保 氏 (株)CCイノベーション

(北國銀行グループ) 代表取締役社長

第二部 例会 14:30~17:00

テーマ「1ミリでもいいから一歩踏み出せ」

萩野 充弘 会員

萩野塗装(株) 代表取締役

第三部 17:20~18:20

委員会・部会PR

詳細は同封のチラシをご覧ください

明日へつなぐ——。

中村FPコンサル

【本社】白山市湊町3-38
TEL.076-278-4847 FAX.076-278-4948
【金沢店】金沢市泉野町2-1-42-2

SNIP

076-262-3377
金沢市もりの里

10

月 DOYU Meeting & Event Schedule

1	土	青年部会キャンプ
2	日	青年部会キャンプ
3	月	総務委員会18:30
4	火	
5	水	
6	木	理事会13:30 金沢中央支部役員会18:00
7	金	能登支部役員会13:00
8	土	
9	日	
10	月	能登合同グループ会
11	火	広報委員会16:30 金沢駅西支部役員会18:30 白山・野々市支部役員会18:30
12	水	女性部会企画実行委員会11:00 環境経営委員会16:00
13	木	地域政策委員会14:00 例会連絡協議会16:00 金沢城南支部役員会18:30 南加賀役員会18:30
14	金	
15	土	経営指針成文化講座③(合宿)

16	日	経営指針成文化講座③(合宿)
17	月	障害者問題委員会14:00 社員共育委員会18:00
18	火	
19	水	共育塾「幹部コース」①
20	木	
21	金	南加賀支部例会
22	土	
23	日	
24	月	
25	火	前期役員研修会
26	水	
27	木	
28	金	フォローアップ研修
29	土	フォローアップ研修
30	日	
31	月	仲間づくり委員会16:00

<お詫びと訂正>

8/25発行の会報9月号において掲載内容に誤りがありました。

関係の方々には大変ご迷惑をおかけして申し訳ございません。お詫びして訂正致します。

●4面右上「金沢城南支部7月例会」タイトル及び文中

誤→「目標なくして成果なし、行動なくして幸せなし」

正→「目標なくして行動無し、行動なくして成果無し、成果なくして幸せ無し」

●8面右下「今月の表紙」誤→篠田 隆行 金沢大学教授 正→篠田 隆行 金沢大学准教授

誤→(株)エム・プロダクション 正→(株)エム・ビデオプロダクション



e.doyu (モバイル版)

<https://ishikawa.e-doyu.jp/>

入会のお申込み・お問い合わせは

石川県中小企業家同友会事務局

Tel.076-255-2323

今月の表紙

障害者問題委員会8月勉強会 石川県立いしかわ特別支援学校訪問
表紙写真提供:(株)シコウ 藤井 敬士 障害者問題委員長

発行/石川県中小企業家同友会 〒920-0059 金沢市示野町南52 AKビル3階 tel.076-255-2323 fax.076-268-5656



てまりグループの地域包括ケア

医療

薬局

生活
支援

リハビリ型デイサービス〈てまりフィットネス〉

住まい

住宅型有料老人ホーム
〈ひなの家・ひなの家 彩〜いろどり〜〉

介護

小規模多機能ホーム
〈ひなの家 押野〉



てまりグループ本部 〒920-0362 石川県金沢市古府2丁目50 TEL.076-287-5933 TEL.076-287-5950 <https://spatel.co.jp/>

てまりグループでは薬局事業と福祉事業を展開し、地域包括ケアシステムの実現を目指しています。